

# 環境活動演習

## 昆虫食に関するディスカッション イベントの開催

上柿グループ

植西、花田、岡本

宮本、宮脇、奥野

# テーマを選んだ理由

- 食に関する問題は、我々にとって身近な問題の1つであり、食糧危機に対する懸念は高い。昆虫食は食糧危機の解決策の1つとして注目されている。
- 現在、「持続可能社会」の実現のための手段が考えられている。食糧危機の解決は、この社会実現にとって不可欠である。

# 活動の目的

参加者がディスカッションを通して、環境学に興味を持ち、自分とは異なる考えを理解、共有できることを目指す。



# イベントまでの活動の流れ

- 文献から現状を把握、資料を集める
- 議論や考察を深める
- ↓
- プレゼン資料、チラシ作成、広報の開始  
リハーサルの実施
- ↓
- イベントの実施(7月10日)

# チラシ

# 昆虫食を語る!!

あなたは昆虫食に賛成? 反対?

近年、人口増加に伴う食糧不足を救う  
1つの対策として昆虫食の普及があげられ  
ています。そこで我々は昆虫食とはど  
ういったものなのかについて詳しく調べま  
した! そして、皆様に知らせてあげたいと思  
い、ディスカッションの場を設けました!  
興味のある方はぜひ、私たちと昆虫食に  
ついて語りませんか?? 笑



**日程**  
7月10日  
5コマ終了  
がら〜  
18:00~19:30

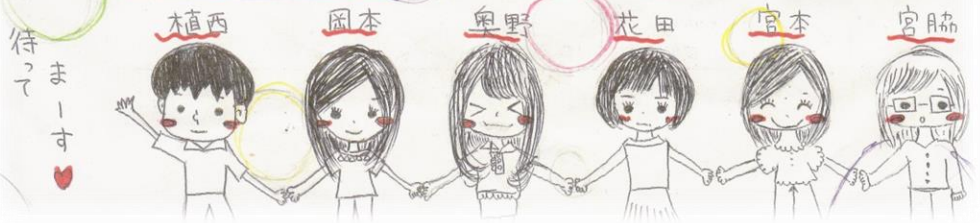
**場所**  
B3棟108

ディスカッションの  
最後になんか  
何ごのつくた煮  
食べれるよ!!!!



代表者: 植西: environment0710@  
yahoo.co.jp

発表者: 環境活動演習: 上柿ゼミ



# 当日の流れ

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 18:00～18:10 | オープニング    |
| 18:10～18:30 | プレゼンテーション |
| 18:30～19:00 | ディスカッション  |
| 19:00～19:15 | 発表        |
| 19:15～19:25 | 昆虫食を試食    |
| 19:25～19:30 | エンディング    |





# 昆虫食とは？



- その名の通り、“虫を食べ”  
と
- 食材としては幼虫や蛹が多いが、  
時には成虫や卵を食べることも
- イナゴ、蛾、蚊、セミ、ゴキブリ、  
コオロギ、ゲンゴロウ、蟻、芋虫  
などなど...

食べる虫は各国さまざまである





# 昆虫食の現状

- アフリカでは、多種多様な昆虫が食べられている

- 保存食として重宝

→ 採集や調理、保存に関する幅広い知識や技術のなかに成立

- 自家消費するだけでなく、販売され、現金に換えられている

- 日本ではまだまだ浸透していない



# 昆虫食のメリット

- 養殖に必要な道具、設備が少ない
- 狭い場所、少ない餌で養殖でき効率がよい
- 飼育に適応する場所が多い
- CO<sub>2</sub>排出量が少なく、環境にやさしい
- 高たんぱくかつミネラルで微量栄養素を多く含む種が多い
  - バランスのとれた保存食となる可能性

# 昆虫食のデメリット

- 外見の気持ち悪さ
- 加工しなければ、腐りやすい
- 毒性や寄生虫の可能性
- 食中毒のリスク
  - ①微生物②自然毒③化学物質



# Q. 問い

皆さんは、飢餓の解決策として、昆虫食を普及させるべきだと思いますか？

賛成、反対の理由を踏まえて、

賛成の人は、**どうすればデメリットを解決できるか？**

反対の人は、**なぜ飢餓問題を解決するのに昆虫食が適していないと考えるのか？**

ということを考え、

グループの意見を紙にまとめてください



# ディスカッションの形式

- 参加人数：12名+進行役2名
- グループ数：2グループ
- 議論時間：約40分
- テーマ：「飢餓の解決策として、昆虫食を普及させるべき？」

# ディスカッションの様子





# ディスカッションの様子

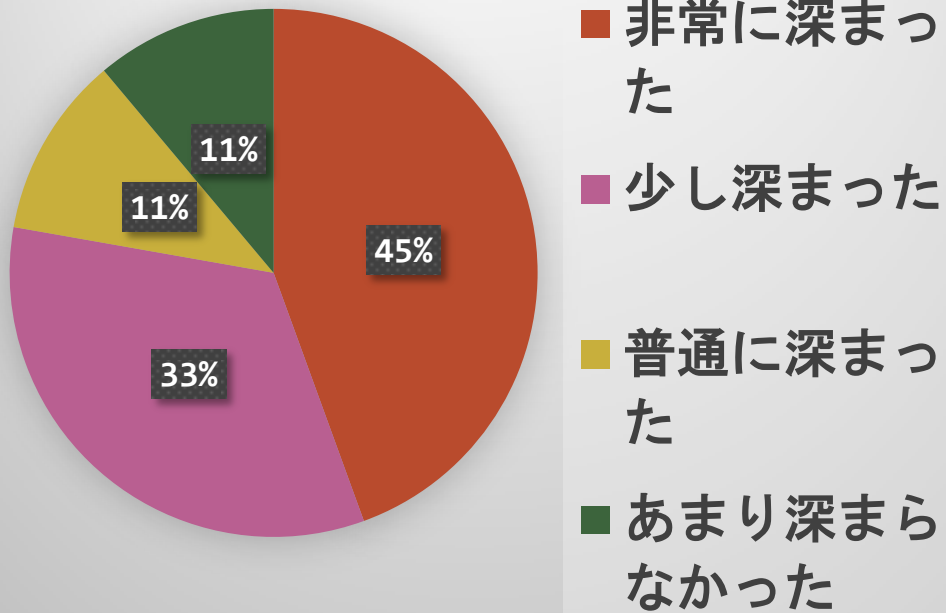
- 予想以上の盛り上がり
- 発言する人、しない人に大きく差が出た
- 時間が経つと共に議論が白熱
- 模造紙の活用法に戸惑っているように見えた

# アンケート結果

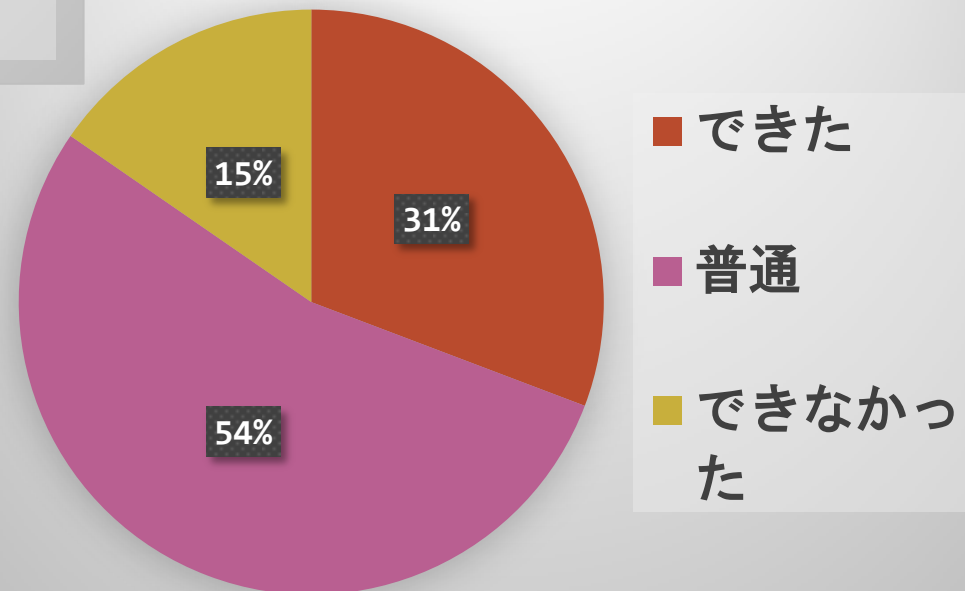
## 質問内容

- 参加理由
- イベントを通して環境学に対する興味が深まったかどうか
- プレゼンテーションはわかりやすかったか
- ディスカッションでは積極的に発言できたか
- 今回のディスカッションにおいて、自らと立場は異なるが、理解・納得できた意見があったかどうか

# イベントを通して環境学に対する興味が深まりましたか？



# ディスカッションでは積極的に発言できましたか？





# 参加者の意見・感想

- 実際に昆虫の養殖をするとなるとコストがかかるというのはもっともだと思いました
- 昆虫食についてというよりも飢餓問題に焦点を置きがちな気がした
- 背景に飢餓問題があるとグローバルになって難しい
- 昆虫食を受け入れられない人にどのように受け入れてもらうかが課題となると思いました
- 純粹に昆虫食に興味があったので物足りなかった

# 得られた成果（準備段階）

スライド資料、アンケートなどを作成する際、それを作成する目的に沿っているか、見る、答える相手がまじめに取り組むにはどうしたらよいかなど、対象を意識して作成することが大切であると分かった

# 得られた成果（ディスカッション）

- 自分たちが得た知識や考えを発表し、ほかの人と意見交換することで、様々な考えがあることを実感し、新たな知識や考えを得ることができた
- 参加者に環境学に興味を持ってもらい、自分とは異なる意見であっても、理解し共有してもらうことができた
- 実食を通して昆虫食になじみを持ってもらえた

# 反省点・改善点I

- 議論が白熱しすぎて、タイムスケジュール通りにイベントを行えなかった
  - ⇒リハーサルをもっと行い、臨機応変に対応できるようにあらゆるケースを想定すべき
- 参加者の質問に対し、適切に答えられなかった
  - ⇒専門知識をもっと蓄えるべき



# 反省点・改善点2

- テーマの捉え方に差があり、意見が食い違うことがあった  
⇒考えるべきテーマを明確に参加者に伝えるべき
- 論破しようとする人たちを上手く導けなかった  
⇒ディスカッションの本来の意味を伝え、様々な意見を知る機会になるよう調整すべき

**ご清聴ありがとうございました**